

# しぜん がくしゅうかん だよ トキと自然の学習館 便り

がつ できごと  
～1月の出来事～

れいわ ねん がつ  
令和5年1月  
VOL.63



## できごと 出来事 しどう 始動!!

とり インフルエンザが猛威を振るうこの冬…。警戒態勢の中、新しい年を迎えました。

トキと自然の学習館「トキみ～て」は8月で開館5周年を迎えます。トキの更なる魅力を、より多くの方に発信する年にしたいと思っています。本年もよろしくお願いたします。

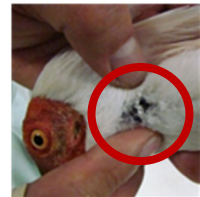


いろ つ はね  
色が着いた羽

しんねん はじ はる はんしよくき む しどう くびまわ はね かいこくしよく うす くるいろ  
新年が始まり、トキも春の繁殖期に向け始動です!!首周りの羽が灰黒色(薄い黒色)にな  
ってきました。これは『生殖羽』と呼ばれ、恋をする季節に入った証です。  
トキの成鳥は毎年12月頃になると、首周りの黒い皮膚から粉状の物質が剥がれ落ちま  
す。これを水浴びの後、羽に擦り付け色を着けていきます。羽の色を変えることで、繁殖  
できることを示したり、身を守るための保護色にしていると考えられています。季節で  
羽が生え変わる鳥が多い中、このような行動をするのは世界中でトキだけだそうです。

むかし はねいろ ちが せいべつ ちが べつ しゆるい  
昔はこの羽色の違いについて、「性別の違い」や「別の種類」な  
ど様々な説がありましたが、1957年に佐渡の高校教師でトキ  
の研究や保護に尽力された佐藤春雄さんが、繁殖期に灰黒色  
になることを明らかにしました。さらに1968年には自らの体  
出る分泌物で色を着けていると発表しました。

「トキみ～て」でも、春にかけて食事そっちのけで熱心に着色をする様子が見られます。珍しい変身術をぜひ  
間近で観察してみてください。



くろ ひ だ  
黒い皮膚



みずあ  
水浴び



こす つ  
擦り付け

## しょうかい シリーズ・トキ紹介② しなの

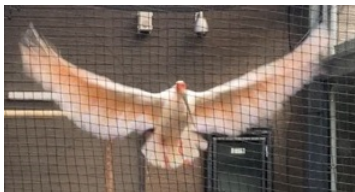
「トキみ～て」で公開している5羽のオスを紹介するシリーズ。

2回目は『しなの』です。愛称の由来は日本一の長さを誇り、長岡市にも流れる「信濃川」。

足環は水色で、その足を行進しているかのように大きくあげて歩く姿が特徴です。  
両親は日本のトキ増殖の大きなきっかけとなった友友・洋洋で、2004年に佐渡トキ保護  
センターで誕生しました。佐渡では飼育下で十数羽の繁殖に貢献。長岡には5年前の「トキ  
み～て」開館に伴いやってきました。



つばさ こまい ちりよう  
翼を固定し治療



開館から7か月後に止まり木の支柱への衝突が原因とみられ  
るケガで左の翼を骨折し、一時非公開となりましたが、1か  
月後には元気に飛ぶ姿を見せてくれました。

今年で19歳になり、長岡市で飼育しているトキの中では最年長。ほとんどのお客様がその年齢に驚かれる中、  
しなのが生まれた2004年に発生した中越地震で被災したお客様が「私達も大変だったけど、よく頑張っ  
てきたね」と声を掛けていたのが印象的です。来月号ではしなのの弟『のずみ』をご紹介します。